

## 新商工業戦略プランの策定について（案）

### 1. 策定の方向性

- 船橋市商工業戦略プランについては、令和7年度で計画期間が終了することから、令和8年度からの次期計画について策定作業を進める。
- 現計画を踏まえ、現状に合わせて修正する。
- これからの工業地域のあり方について、既存工業地域の高度利用化や新たな産業用地創出等による市内企業の事業拡大や企業誘致の受皿の確保を検討するための、展望を示す。

### 2. スケジュール

年度	時期	内容
6年度	5月	新プラン策定委員会①【委嘱状交付、プロポ仕様書審議】
	5～8月	「調査・策定支援業務」受託事業者の選定（プロポ）
	9月	新プラン策定委員会②【調査内容審議】
	10～12月	基礎調査（アンケート、事業者ヒアリング）
	3月	新プラン策定委員会③【調査結果報告】
	3月	素案作成
7年度	4～6月	素案作成
	7月	新プラン策定委員会④【素案審議】
	7～8月	素案修正
	9月	新プラン策定委員会⑤【素案確定】 市民環境経済委員会報告（パブコメ実施）
	10月	次年度予算要求に反映
	10～11月	パブリックコメント
	12月	パブコメ回答
	2～3月	新プラン策定委員会⑥【プラン案確定】 新プラン策定【市長決裁】

### 3. 策定体制

新プラン策定に向け、専門の委員会を組織する。

分野	人数（計12人）
学識経験者	3～4人
関係団体	6～7人
関連部署	2人（企画財政部、経済部）

#### 4. 策定支援業務委託【2ヵ年】

新プラン策定にあたり必要となる調査および計画作成の支援業務を委託する。

- ・ 基礎調査（統計資料調査、アンケート調査、ヒアリング調査など）
- ・ 作成支援（現状把握・分析、課題抽出、方向性検討、実施事業立案、KPI 設定など）
- ・ 委員会運営支援（会議資料作成、議事録作成など）
- ・ 印刷製本（基礎調査報告書、新プラン、新プラン概要版）

#### 5. 現プラン策定との差異

- 策定委員会の下に、商業部会・工業部会を設置しない。
- 市民公募委員は入れず、市民アンケートやパブコメで市民意見を取り入れる。